

会 議 録

会議の名称	戸田市都市再生協議会（第1回）
開催日時	令和7年8月8日（金）午後2時00分 ～ 午後3時20分
開催場所	戸田市役所 5階 大会議室B
出席者氏名 （委員）	岡田 智秀（会長）、荒井 歩（副会長）、溝上 西二、藤田 安志、 入船 優太、畠 繁明、細谷 功一、宮下 覚、矢内 祐一、 沼田 篤彦、熊木 智洋、高屋 勝利、渡辺 大助、 岡安 敦志、内藤 祐一
欠席者氏名 （委員）	長谷川 昌之、船津 宗和
事務局	<p>【戸田市 都市整備部】 早川部長</p> <p>【戸田市 都市整備部 都市計画課】 今泉課長、江口主任、高木主事、 泉主事補、茂原主事</p> <p>【株式会社 千代田コンサルタント】 川上、松元、小柏</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会実験企画書（案）について ・ 令和7年戸田市都市再生整備計画（案）（来年度以降の事業） について
会議結果	別紙「会議の経過」のとおり
会議の経過	別紙「会議の経過」のとおり

<p>会議資料</p>	<p>【資料1】 : 令和7年度 戸田市ウォーカブル推進事業 北戸田駅周辺社会実験企画書（素案）</p> <p>【資料2】 : 令和7年度戸田市都市再生整備計画（案） （来年度以降の事業）について</p>
<p>議事録確定</p>	<p>令和7年9月1日 都市再生協議会 会長 岡田 智秀</p>

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p><u>1. 開会</u></p> <p>(開会挨拶)</p> <p>(資料及び議題の確認)</p> <p>(事務局から会長へ進行を交代)</p> <p><u>2. 議題</u></p> <p><u>(1) 会長及び副会長の選出</u></p> <p>「議題1 (1) 会長及び副会長の選出」について、事務局より説明。 (出席の全委員からの異議なしをもって、「令和7年度戸田市都市再生協議会」の会長に岡田智秀日本大学教授、副会長に荒井歩東京農業大学教授を選出。)</p> <p>(事務局から会長に進行を交代)</p>
会長	<p><u>(2) 社会実験企画書(案)について</u></p> <p>「議題2 (2) 社会実験企画書(案)」について、事務局より説明いただく。</p>
事務局	<p>(資料1に基づき、事務局より説明)</p>
委員	<p>笹目川秋フェスタについて、市役所側の担当をしている河川課の委員として説明させていただく。10月4日(土)の11時から15時まで、笹目川沿いの左岸プロムナードの大型階段付近での実施を予定している。主催は地元町会や商工会、学校、県等で組織された笹目川とことん活用連絡会である。整備された笹目川沿い親水空間の積極的利活用の推進を目的とする。</p> <p>10月4日はステージや出店企画を検討中であり、ウォークブルの高架下社会実験の同時開催については報告済みである。また、笹目川秋フェスタ会場とウォークブル社会実験の会場をスタンプラリーでつなぐ検討を進めている。これらについて笹目川とことん連絡会の会議に諮る必要があり先日の連絡会で共有させて頂</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p>いた。また9月11日に開催予定の連絡会議で詳細内容について諮ることとなる。連絡会議前までに調整を進めたい。また、場所が離れており実施目的も異なるが、同時開催で集客も見込めることから情報共有しながら協力して進めていければと考えている。</p> <p>7月に開催した戸田市まちづくりラボ会議のワークショップでも、笹目川秋フェスタと高架下の社会実験等の取組が相互に作用するように連携できればという話があった。社会実験のワークショップで作成したものが笹目川沿いに設置される、あるいはランタン等と同じデザインで双方をつなげるように設置するなど、歩いて楽しくなるものを、連携と相乗効果をキーワードに展開できればと考える。</p> <p>組織運営体がそれぞれ異なるが、連携していくにあたって連絡会議や調整会議の開催はありうるか。</p>
事務局	<p>現時点では会議開催の予定はないが、個別に関係者が集まり調整できればと考えている。今後必要に応じて、関係者による会議を検討したい。</p>
会長	<p>両イベントで今後連携していくにあたって、入船氏のご意見を伺いたい。</p>
委員	<p>行政組織で各課のプロセスや進め方が異なるが、各課内での情報共有が不足している状況がある。実務者レベルでの連携強化をスピーディに進めていくことが、課題と考えている。</p>
会長	<p>実務者レベルでの調整会議などを実施することで、当日のイベントもより相乗効果を発揮できる。協議開催を前向きに検討いただきたい。</p>
委員	<p>実証実験のキッチンカーを2台、来年3月末まで設置する予定だが、高架下道路の歩道整備はどのような工程で実施される予定なのか。キッチンカー設置中に出入り禁止になる等、影響があるのかどうかを知りたい。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>高架下道路の歩道整備は、来年度着手を予定している。今年度中は現況道路のままキッチンカーは出店できる。工事を行う来年度については、キッチンカーは一旦停止となる。「ほこみち」の設定は警察協議を踏まえ交通量調査が必要になる。今後方向性が確定次第、1年程度を目途に制度設計を進め運用開始するイメージである。</p>
副会長	<p>戸田市まちづくりラボ会議で7月に実施したワークショップは、どのような題材・形式で実施したか。</p>
事務局	<p>高架下道路の歩道整備に向けて今年度、同時進行で設計業務を実施中である。従来の通り過ぎる道路でなく、人々が集い賑わいを創出する設えの検討として、ベンチや植栽、照明などを今回の社会実験で試行し、皆様のご意見を設計に反映していきたいと考えている。</p> <p>以上を踏まえ、ワークショップでは、高架下東西の地図上にベンチや植栽、テーブル、パラソル等をラボ参加者等に整備イメージを提案していただき、道路の利用方法等についてもご意見を頂いた。事務局で内容の整理を行い、9月のまちづくりラボ会議で社会実験で実施する実際のファニチャー配置（案）を決定したいと考えている。</p> <p>また、10月4日開催のアート企画として、どのようなものが実施可能なのか検討も行った。具体的にまちづくりラボが実施するアートイベントとして、手作りのベンチ製作や、アート作品の展示について検討を行った。製作・完成したものについては、社会実験で設置したいと考えている。ベンチは構造的に問題がなければ、歩道整備にも本設置できればと考えている。</p>
副会長	<p>これまで、「つなげる」というキーワードが出ていて、今までのまちづくりラボ会議のなかでも、区域全体を面的な視点で整備を検討してきた。これからワークショップを実施する際も、引き続き、笹目川と2号公園、北戸田駅高架下周辺を一体的な面として賑わいを創出することを念頭に置いて進</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p>めていただきたい。</p> <p>拠点間をつなげるテクニックとして、他自治体でペットボトルを使った照明を作成して願いごとを描いていただいたところ、大きな反響があった。このように子どもが集まるプログラムは家族を巻き込んだ相乗効果が期待でき、北戸田高架下にも適していると考え、ワークショップで提案した。この事例は実施における負担が大きかったため、負担を減らしながら実施できるよう、事務局と相談できればと考えている。</p>
委員	<p>ウォークブルな視点で整備を進めていくにあたり、整備箇所には自転車の通行は許可する予定か。</p>
事務局	<p>今回の事業はウォークブル空間の創出が主目的であるため、基本的には自動車同様に通行禁止にすることを考えている。</p>
会長	<p>ローソン前にレンタサイクルスペースがある。ここから自転車が環境空間に入ってこない様、歩行者優先の点から、社会実験中は交通整理をする必要がある。</p>
会長	<p>笹目川と駅高架下、この2拠点がばらばらにならない様、最終的には面整備で地域が賑わっていくよう展開していくこと、既存の周辺拠点を見据えながら計画を進めていくことが大事である。また、実現に向けて実務者レベルで連携することが必要である。</p>
会長	<p><u>(3) 令和7年度戸田市都市再生整備計画(案)(来年度以降の事業)について</u></p> <p>続いて、「議題2(3) 令和7年度戸田市都市再生整備計画(案)(来年度以降の事業)について」に移る。</p> <p>資料2「令和7年度戸田市都市再生整備計画(案)(次年度以降の事業)」について、事務局より説明いただく。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
委員	<p>(資料2、に基づき、事務局より説明)</p> <p>2号公園の整備年度が令和9年度とあったが、おそらく10年度の整備になると考えている。北戸田駅のウォークブル空間との連携として、2号公園ではPark-PFIによる民間施設の設置・維持管理を考えている。2号公園の整備について地域で治安面等の懸念があることを把握しており、これらの実施有無について芦原町会にご相談したいと考えている。令和8年度に民間活力の導入調査を実施、これに基づき令和9年度に実施設計を行い、令和10年度に整備を進めていきたいと考えている。芦原町会の方々とも調整を進めていきたいと考えている。</p>
会長	<p>2号公園は、芦原町会が治安改善に尽力されてきた経緯がある。行政と町会で情報の共有と連携を図りながら進めてほしい。</p>
副会長	<p>市内の連携を取りながら進めてほしい。高架下空間は公園や笹目川につながるため、様々な事業で連携ができる。Park-PFIに関しては、メリットやデメリットについては町会に説明を行いながら、情報共有を行うことが重要である。</p> <p>Park-PFIについて、豊島区などではウォークブルの概念を取り入れながら公園を整備している。南池袋公園は指定管理の実施等によって地域課題を解決しながら、メリットを引き出している。豊島区とは規模感が異なるため、戸田市としての新しい機軸を打ち出してほしい。その他、埼玉県八潮市の駅前に公園を整備したときには住民から様々な意見もあったが、駅前に大きな空間がある事で、住民の意見を市や県に通す際、地元色を出せより住民が参加しやすくなった。他自治体において、工夫しているところである。是非、戸田市でも公園全体のリニューアルとして、ウォークブルとも繋げてほしい。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p>民間企業が参入して収益重視で計画が進むと、地域と摩擦が発生することが懸念される。町会で守ってきた2号公園の歴史を踏まえた計画のコンセプトを提示することが必要。また、行政・PFI 事業者・町会の3者による北戸田らしいコンセプトを掲げ、空間的にどう設えるかの段階的プロセスを重視して今後の検討を進めて頂きたい。</p> <p>以上の議論を踏まえ、「令和7年度戸田市都市再生整備計画（案）（来年度以降の事業）について」に対して、本都市再生協議会としては承認することで異議ないか。</p> <p>（出席の全委員からの異議なしをもって、本協議会として「令和7年度戸田市都市再生整備計画（案）（来年度以降の事業）について」を承認。）</p> <p>（会長から事務局に進行を交代）</p>
事務局	<p><u>・スケジュールについて報告</u></p> <p>（次回会議 12月頃、10月社会実験結果と設計案の報告を予定）</p>
事務局	<p><u>4. 閉会</u></p> <p>事務局閉会挨拶</p> <p style="text-align: right;">以上</p>